

令和6年度本試験の得点から考えるTACの講座選択

例年ですと、300点満点中、全体で5割程度・140～150点以上得点できているかどうか、受験経験者クラスか、基礎クラスかの選択の目安となります。

ただし、記述式と基礎知識は水モノですから、あまり参考になりません。そこで、コース選択の場合には、記述式と基礎知識を除いて、下記、法令択一（160点満点中80点以上）と法令多肢（24点満点12点以上）の合計点で5割程度（90点ぐらい）を超えているかどうかを一つの基準として、ご検討いただければと存じます。

【法令択一＋法令多肢 マークシート問題による目安】

法令択一40問 （160点） 法令多肢12空欄 （24点）		合計184点満点
20問以上＋6空欄以上 ＝およそ92点以上	・ 答練本科生 S ・ 答練本科生 A ・ 答練本科生 B	
20問未満＋6空欄未満 ＝およそ92点未満	・ プレミアム本科生 ・ ベーシック本科生	

※なお、法令記述式については、ヤマが当たったなど、「紛れ」がありますので、一概に、「記述式で得点できているから受験経験者」、「記述式で得点できていないから基礎クラス」ということにはなりません。あくまでも一つの目安ですが、問題45は難問だったこともあり度外視して、問題44・45の合計40点満点中、6割24点以上得点できていたかどうか。24点以上であれば、答練本科生、それ未満ならプレミアム本科生などがお勧めです。

【参考・法令記述問題による目安】

法令記述 問題44・46の2問（40点）	
問題44・46 ＝2問の合計24点以上	・ 答練本科生 S ・ 答練本科生 A ・ 答練本科生 B
問題44・46 ＝2問の合計24点未満	・ プレミアム本科生 ・ ベーシック本科生

以上